

『西田哲学会年報』執筆・投稿規程

西田哲学会編集委員会

2025（令和 7）年 9 月 1 日改訂

1. 投稿資格

研究論文を『西田哲学会年報』に投稿する者は、西田哲学会の B 会員もしくは C 会員であること。ただし、掲載希望年度までの会費を納入済みの会員にかぎる。

2 号続けて掲載された者は、次の投稿まで最低一年以上空けることとする。

2. 投稿論文の内容

『西田哲学会年報』に投稿する論文は、未公表の新規のものに限る。また、その内容は、西田幾多郎および広義の京都学派の思想に関わることを原則とする。

3. オンライン出版

研究論文を『西田哲学会年報』に投稿する者は、同誌に掲載された論文が CiNii、J-STAGE、EBSCO に登録され、公刊一年後にインターネットで公開されることを了解の上で投稿する。

4. 原稿の作成・分量

原稿の作成には Word を用い、本会が提供するテンプレート・ファイルを使用すること。テンプレートを開くと新しいファイルが生成される。ファイル内の説明を読み、「論文見本」を適宜参照して、横書きの投稿論文（.docx）を作成すること。使用言語は、日本語もしくは英語とする。日本語で作成された投稿論文は、参考文献・注および図版や表を含めて、18,000 字程度の分量に収めること。英語で作成された投稿論文は、参考文献・注および図版や表を含めて、8,000 語程度の分量に収めること。

日本語論文には、200 語程度の英語要旨を、英語論文には、200 字程度の日本語要旨を付けること。いずれの場合も、キーワードを 5 つ程度、日本語と英語の双方で挙げること。

ネイティブチェックについては、論文本文と要旨とを問わず、各自が責任をもって予め済ませておくこと。

図版の使用については、原則として、本体 2 ページ相当分まで認める。制限内に収まるように執筆者の方で大きさ等を決定し、通し番号、表題をつけ、出典がある場合は明記すること。

5. 提出方法と提出先

Word テンプレートを使用し、応募原稿は Word フォーマット（.docx）と同データを pdf に変換したもの（.pdf）の二つを、10 月末日までに編集委員会と学会事務局の両方に添付ファイルで送付すること。

投稿の際には、下記の事項を記載した「投稿情報」を、「原稿」ファイルとともに送付する。

- (1) 氏名（英語氏名も）
- (2) 所属（〇〇大学文学部教授、〇〇大学大学院文学研究科大学院生などのように、詳細に記す）
- (3) 論文名（日本語題名と英語題名の両方）
- (4) 連絡先
 - ・ 電話ないし FAX（自宅あるいは勤務先）
 - ・ 電子メールアドレス

送付先

編集委員会	nishidaeditor@gmail.com
学会事務局	info@nishida-philosophy.org

6. 投稿論文の審査と採否

審査は、複数の査読者によって行なう。審査の過程で査読者からの問題点を応募者に指摘し、書き直しの要求をする場合がある。最終的な採否は、査読の結果を踏まえ、編集委員会において決定する。

7. 校正

採用が決まった論文について、執筆者は再校までを行うものとする。